

生涯学習施設整備に関する意見交換会（築地地区区長会）

会議録要約

●開催概要

開催日	令和7年11月7日（金）
時 間	午後1時30分～午後2時30分
会 場	築地農村環境改善センター 2階洋室会議室
参加者	10名 宮川、竹島、築地、下高田、山王、高畠、宮瀬、笹口浜、中村浜、村松浜
市出席者	教育長、生涯学習課長ほか事務局担当者

1 教育長あいさつ

教育長	<p>○生涯学習施設の整備について、図書館機能、公民館機能、また子育て世代や高齢者を含む多世代交流機能を整備することが基本方針です。さらに、市民からの要望を受けて、子どもたちが自由に遊べる屋内外の施設機能も備えた全市民のための生涯学習施設の整備を図っていくことを基本として考えています。</p> <p>○基本計画案は、市民の皆さんに検討していただくための提案として作成し、これまでパブリックコメントや市民説明会を通じて広く意見を募ってきました。さらに、10月1日から再度パブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を募っています。</p> <p>○10月24日付の新潟日報で、生涯学習施設について「基本計画案を見直し」という報道がありましたが、決して根本的に見直しを行ったという事はなく、これまでのパブリックコメント、座談会、市民説明会などで寄せられた意見を、総合的に勘案して、必要な範囲で見直しを行いました。</p> <p>○先日、中条地区区長会で意見交換会を行い、5つの候補地の中で嘉平山が建設場所として望ましいのではないかという意見がありました。乙地区区長会では市中心に近い場所が良いのではないかという意見がありました。もちろん、他にさまざまな考えがあると思います。</p> <p>○今後は、これまでにいただいた多様なご意見を望ましい方向に集約するために、有識者や図書館等施設利用者、子育て世代、公募による市民委員などからなる審議会を設置し、諮問・答申のプロセスを経て、最終的な方針を決定していきます。</p>
-----	--

	○施設の建設場所や内容について、皆様のご意見が市民全体の最大公约数的な希望を実現するために率直なご意見をいただきたいと考えています。
--	--

2 事務局説明

事務局	<p>(1) 胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）について</p> <p>○施設の基本的な考え方・コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、胎内市生涯学習施設整備基本構想を踏まえ、「つなぎ・はぐくむ」情報・文化・交流拠点を基本理念とします。 ・公民館や図書館機能に加えて、子ども、子育て世代を中心に、多世代が集う交流の場を創出する多世代交流拠点を目指しています。 ・施設イメージとしては、公民館・図書館の機能を備えつつ、多世代が交流できる場とし、子どもから高齢者まで全市民を対象とします。 <p>○施設の内部・外部空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内は、来館者が快適に過ごせるゆったりとした空間とします。 ・屋外には、子どもたちが自由に遊べる遊具施設を設けた広場や、多様な人々が交流できるスペースの整備を検討しています。 <p>○規模と事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模は、延べ床面積は概ね 4000 m²を想定しており、設計段階で規模をコンパクトにする方向で検討しています。 ・総事業費は約 45 億円で建設コストの最大値として想定しています。 <p>○建設候補地の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地に求められる条件として、ゆとりある空間の創出、周辺環境との調和、利用者の動線やアクセスのしやすさ、ゆとりある駐車スペースの確保を挙げています。 ・候補地としては、ぶれすば胎内周辺、中央公民館周辺、中条駅周辺、関沢地内（嘉平山）、旧柴橋小学校の 5 つの地域が挙げられ、それぞれにメリットとデメリットがあります。 ・ぶれすば胎内周辺 大型駐車場を併用可能、体育施設との連携や併用が可能、市有地のため用地購入費が不要ですが、駅や中心市街地から離れており、十分な敷地面積の確保が難しい。 ・中央公民館周辺 駅や中心市街地に近く、現行の中条地区の利用者にとって利便性が高く、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混
-----	---

	<p>雑や安全面の懸念、将来的には中学校統合の建設用地となる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中条駅周辺 <p>駅や中心市街地に近く、駅利用者には利便性が高いが、周辺道路が狭く、新施設の出入りや電車発着時に混雑が予想されます。適した用地の確保が現実的に難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関沢地内（通称嘉平山） <p>駅や中心市街地に比較的近く、広い敷地と静かな環境が整っており、市有地のため用地購入費が不要ですが、進入道路や上下水道等のインフラ整備が必要、幹線道路や市街地からは見えにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧柴橋小学校 <p>静かな環境にあり、市有地のため用地購入費が不要ですが、周辺道路が狭く、混雑や安全面に課題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の基本計画案では、敷地の広さに余裕があり、幹線道路からのアクセスが良好で、まとまった駐車スペースの確保が可能であることに加え、豊かな自然に囲まれた静かな環境が提供できるため、関沢地内（通称嘉平山）を有力候補地として位置付けていました。 <p>○市民の意見と今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントや市民説明会でいただいた様々なご意見を踏まえ、現時点の基本計画（案）には、有力候補地の記載の代わりに比較表を掲載しました。 ・今後、専門家や市民からなる審議会を設置し、意見を集約しながら最終的な判断を行う予定です。 <p>○現在の公民館・図書館の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設が中心市街地以外に建設される場合、中条地区においても、乙・築地・黒川地区と同様に引き続き維持していく方針です。 <p>（2）生涯学習施設のこれまでの経緯について</p> <p>○これまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月に胎内市生涯学習施設整備検討委員会を設置し、副市长や教育長をはじめとする14名で協議を行いました。また、市民参加型ワークショップも開催し、延べ80名の方々から貴重な意見をいただきました。 ・これらの意見を基に基本構想案を作成し、令和5年3月にまとめましたが、新型コロナウィルスの影響や新たな整備手法の検討に時間を要し、最終的な基本計画案が整ったのは本年3月となりました。
--	---

	<p>○候補地に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、関沢地内の嘉平山を有力候補地として示しましたが、候補地の選定プロセスが不透明だと感じた市民から再考を求める声などがあり、4月から6月に実施したパブリックコメントでも「市街地から遠い」「徒歩での利用が難しい」といった意見が多く寄せられました。 ・5月に実施した座談会では、子育て世代からは広い駐車場や屋外スペース、小学生と幼児が遊べる屋内施設を求める声がありました。 <p>○統合中学校との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補地の選定にあたっては、統合中学校の建設場所とも関連するため、検討内容との整合性を図りつつ方向性を定めていく必要があります。 <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から実施したパブリックコメントを踏まえ、現在、第2回のパブリックコメントを実施しています。 ・多様な意見を望ましい方向にまとめるために有識者や市民で構成される審議会を設置します。その後、諮問・答申を経て、最終決定を行っていく予定です。
--	--

3 質疑

参加者	<p>○個人的な意見として、嘉平山が最適だと思います。市制20周年記念式典に参加した際、多くの市民が胎内市は自然に囲まれた素晴らしい場所だと言っており、私もその景色が浮かびました。嘉平山周辺は、子どもたちが自然の中で遊べる場所として理想的です。</p> <p>○車社会であり、のれんす号も整備されているのでいろんな面を考えると可能だと思います。</p> <p>○嘉平山周辺の自然環境を整備することで、熊などの野生動物が市街地に出てこないようにする利点もあると思います。</p> <p>○インフラ整備がされていませんが、土地の買収やその辺の費用を考えると許容範囲なのではないかと考えています。</p>
参加者	<p>○建設費45億円は嘉平山が候補地の際の費用でしょうか。</p> <p>○他の地区で建設した場合の試算はしていますか。</p>
事務局	<p>○この事業費45億円は、4000m²の施設を建てる場合のm²単価を基に算出した額で、どの場所でも基本的には同じ費用がかかります</p> <p>○嘉平山の場合、インフラ整備に3億円程度を見込んでおります。他のインフラが整備されているところでは、インフラ整備費用が不要</p>

	ですが、土地購入費用が発生します。
参加者	○櫛形断層についてはいかがでしょうか。
事務局	○専門家によると、嘉平山は活断層からある程度距離が離れており、地震発生時の影響が特段大きい場所ではないとのことです。
参加者	○アクセス・利便性について、嘉平山のアクセスが優れていると言わることに疑問を感じているため、その点について、どのように考えて嘉平山が優れていると判断されているんでしょうか。
事務局	○そういった検証を今後審議会の中で判断していただこうかなと思っています。 ○こちらが示すアクセスというのは、わかりやすく、位置を示しやすいということです。
参加者	○具体的にどのような建物になるのか、近い例があれば教えてほしいです。また、建物が1階建てになるのか、2階建てとか想定があるんですか。
事務局	○基本計画案に示した機能検討図を基に、設計業者を選定した後、自由な発想のもとで、機能を満たすための最適な設計が行われることになります。そのため、今は大まかなスペースの配置や機能に関する検討が行われている段階です。
参加者	○胎内市は人口減少が深刻だと思いますが、4000m ² にこだわる理由を教えてください。
教育長	○人口減少が進む中で、胎内市がどのように活気を持続させていくかは大事なポイントだと思います。そのためには、若い世代から高齢者まで幅広い世代が交流できる施設が必要だと思います。 ○設計の自由度を失わないことを大切にしながらも、多くの世代でたくさんの人たちの交流を生むためにゆったりとした広めのスペースができればと、かつての検討委員会において代表の方々からいただいた意見を踏まえて考えているところです。
参加者	○中央公民館の周辺の統合中学校の建設予定地の一つとされているところが大型車両進入禁止のエリアにあり、スクールバスが利用できないことから、中学校をその場所に建設するのではなく、生涯学習施設を建設した方がいいと思います。そうすれば市街地以外に建てる場合の既存の機能を維持する必要がないと思います。
教育長	○中学校統合準備委員会では、生徒数が減少しているため、スクールバスを利用する子どもが少なく、また、通学時間の関係から、巡回ではなくワンボックスカー等の活用などにより大型バスを利用する必要がないという話が出ています。

参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○我々にとっては全部遠いですが、どこでも関係ないと感じています。実際には中条地区で嘉平山に賛成して方もいるのに反対している理由が分からぬ。 ○コスト面の比較が十分に計算されていないような気がします。 ○土地の価値や今後の使い道を考慮して、比較が十分でないのではないか。』
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○嘉平山の選定に対する反対意見の中で特に多かったのは、住民が今まで歩いて行けた場所が、国道を越えて行かなければならなくなるという点でした。これについては、説明が不足していたと感じており、今回は胎内市民全体のための施設を整備するということを主眼として進めているが、各地区の公民館的な機能等については別途考慮すべきだと認識しておりました。 ○中条地区についても、生涯学習施設が中心市街地以外にできることとなった場合には、既存の施設を活用して図書室機能や公民館機能を維持していく方針の説明をしたところ、反応が少し和らぎだと感じています。 ○引き続き、予算面や他の場所を含めた意見を審議会で諮問・答申後、方向性を示していきたいと考えています。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○施設のイメージとしては新発田の生涯学習センターですかね。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○そこに図書館的な機能と子育て世代や子どもたち向けの交流スペースを組み合わせた複合施設を想定しています。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に施設を利用するすることは少ないが、アクセスに懸念はあるものの、防災面も考慮して嘉平山に建てることは賛成です。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○今の意見についてですが、水害があった地域で、この地区は一番影響を受けました。羽越水害の際、通れなくて皆が困っていました。そういう場所に避難することはできないと思います。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○津波を想定して言いました。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○羽越水害で大きな被害を受けたことや津波を想定した場合などを踏まえ、様々な防災についてなども十分考慮しながら検討していくなければならないと思っています。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の利用数を一日どれくらい想定していますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○目標人数を定めるのはこれからです。現状、図書館と中央公民館の年間利用者数はそれぞれ2万人に満たない状況です。 ○新しい施設では、それ以上の人が集う施設になることを目指しており、これまで利用していなかった層の人々も集まるような魅力的な施設を作りたいと考えています。

参加者	○施設の規模や面積について、その広さを正当化できる理由や利用計画をしっかりと示していただきたいと思います。
教育長	○施設の利用者数について具体的な数字はまだ言えませんが、子育て世代をターゲットにした遊び場や、読み聞かせボランティアのイベントなどを通じて、集い、にぎわいが出てくるのではないかと考えています。
参加者	○石巻市役所の防災センターのように、市役所の下にショッピングセンターを配置する事例があります。参考にしたら人はかなり集まるのではないかでしょうか。
教育長	○全国各地で成功している事例も多くありますので、それらの良い点を参考にしながら、胎内市に合った施設を作っていきたいと考えています。
参加者	○これから高齢化が進む中で、胎内市の税収が減少する可能性が高いので、経費削減を考慮し、できるだけ費用がかからない設備を整備することがいいと思います。 ○子育て世代の遊び場が不足しているという点も考慮し、道の駅のような施設や、全天候型の遊び場がある場所の事例も参考にするべきだと思います。 ○少子高齢化が進む中で、子ども世代を優遇することが重要ですし、移動手段がない人たちにはのれんす号を利用してもらった方がいいのではないかと感じました。利便性や設備投資の額も考えていくべきだと思います。
参加者	○審議会のメンバーはどのように決めるんですか。
事務局	○現在、メンバーは15人程度を設定しています。メンバーには、現在の施設を利用している方や、社会教育に関する識見を有する方、まちづくりに関する識見を有する方、実際に実践している方などにお願いし、公募でも若干名の参加者も募っています。
参加者	○パブリックコメントの結果の公表はどうするんですか。
事務局	○1回目のパブリックコメントはすべて公表しています。現在2回目が終了しており、その結果については市の考え方を添えて公表する予定ですので、少しお時間をいただきたいと思います。
参加者	○公表の仕方はどのようにしますか。
事務局	○市のホームページに掲載したり、各地区の施設に紙で置かせていただく予定です。
教育長	○パブリックコメントでいただいたご意見や区長さん方からの意見も審議会にしっかりと伝え、審議してもらいます。審議会での審議

	内容や答申については、皆さんにしっかりとお伝えしたいと思います。
--	----------------------------------